

地域医療支援病院業務報告書

2025年 9月 18日

愛知県知事殿

開設者 住 所 愛知県豊田市トヨタ町1番地
氏 名 トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長 佐藤 恒治

下記のとおり、2024年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	トヨタ記念病院					
所 在 地	愛知県豊田市平和町1丁目1番地					
診 療 科 名	内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、腎臓内科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、小児科（新生児）、整形外科、形成外科、脳神経外科、外科、緩和ケア外科、乳腺・内分泌外科、消化器外科、内視鏡外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、肛門外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、生殖医療・産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、リウマチ科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、心臓外科、病理診断科、救急科（計41科）					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
					527	527

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要					
集 中 治 療 室	（主な設備）病床数 12 床 モニタリングシステム（生体情報）、PCPS（キャピオックス遠心ポンプコントローラー）、大動脈内バルーンポンプ、超音波診断装置、人工呼吸器					
化 学 検 査 室	（主な設備）生化学自動分析装置、血球分析装置、免疫測定装置等					
細 菌 検 査 室	（主な設備）顕微鏡、蛍光顕微鏡、セイフティキャビネット、血液培養装置					
病 理 検 査 室	（主な設備）組織自動包埋装置、自動免疫染色システム、凍結切片装置					
病 理 解 剖 室	（主な設備）医用写真撮影装置、無影灯、解剖台、保管庫（遺体）					
研 究 室	（主な設備）電子カルテシステム					
講 義 室	室数 1	収容定員 192 人（大会議室：192人）				
図 書 室	室数 1	蔵書数 8,000 冊程度				
救 急 用 又 は 患 者 搬 送 用 自 動 車	（主な設備）救急車（除細動装置、移動用モニター、酸素吸入装置）保有台数 1 台					
医 薬 品 情 報 管 理 室	〔専用室の場合〕床面積 33.7 m ²					

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日

2 紹介率 70.5%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 ($A/B \times 100$)
17,777人	25,196人	70.5%

3 逆紹介率 83.8%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 ($C/B \times 100$)
21,117人	25,196人	83.8%

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあっては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

- ・前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数 3,175件
- ・申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数 3,175件
- ・共同利用に係る病床の病床利用率 18.3%

2 共同利用の範囲等

- ・共同利用対象施設：研修室(大会議室)、図書室
- ・開放型病床 : 24床 (6 D病棟8床、7 D病棟8床、8 D病棟8床)
- ・共同利用医療機器 : 磁気共鳴画像診断装置 (MRI)、全身用コンピューター断層撮影装置 (CT)
骨塩定量測定装置、ポジトロン断層撮影装置CT付 (PET-CT)、ガンマカメラ装置 (RI)
胃内視鏡検査装置 (胃カメラ)、大腸内視鏡検査装置 (大腸カメラ)、X線テレビ装置、
超音波断層装置 (心臓超音波検査、腹部超音波検査、頸動脈超音波検査)、
脳波計 (脳波)、心電計装置 (ホルター心電図、負荷心電図)

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	④ ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	事務

※ 3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
		(別紙参照：資料2-3)		

※ 4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 24床

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
	別紙参照 : 資料3-1		常勤 非常勤 専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (G I C U)	6 床
	名称 (N I C U)	6 床
専用病床	名称 (救命救急病棟)	20床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
G I C U	506.88 m ²	(主な設備) セントラルモニター、ICUベッド (高性能)、超音波診断装置	可
N I C U	185.28 m ²	(主な設備) 人工呼吸器(新生児専用)、網膜 光凝固装置(硝子体手術・未熟児網膜症治療 用)	可
救命救急病棟	766.95 m ²	(主な設備) モニタリングシステム(生体情 報)、大動脈内バルーンポンプ、PCPS装置、超 音波診断装置	可
E R 外来	912.92 m ²	(主な設備) PCPS装置、超音波診断装置、 血液ガス分析装置、誘発電位測定装置(サイナ ックス1200)	可
放射線科	1581.01 m ²	(主な設備) 磁気共鳴画像診断装置(MRI)、 全身用コンピューター断層撮影装置(CT)	可
臨床検査科	267.67 m ²	(主な設備) 生化学自動分析装置、血球分析 装置、免疫測定装置	可

手術室	2,369.78 m ²	(主な設備) デビンチXi、メラ人工心肺装置 (HAS型)、手術用顕微鏡、フロアスタンド型顕 微鏡	可
内視鏡室	777.5 m ²	(主な設備) 内視鏡ビデオシステム、小腸ビデオ スコープセット、超音波ガストロビデオスコープ	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入し た救急患者の延べ数	9,253人 (4,089人)
上記以外の救急患者の延べ数	15,877人 (2,821人)
合計	25,130人 (6,910人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数 51 回

6 備考

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

(別紙参照：資料4-2、4-3)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	48回
(2) (1) の合計研修者数	2,663人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 ④・無

(2) 研修委員会の有無 ④・無

(3) 研修指導者

氏 名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨床経験 年 数	備 考
	医師	消化器外科	副院長	32年	研修責任者
	看護師		総看護長	35年	
	医師	循環器内科	科部長	30年	
	歯科医師	歯科口腔外科	医長	19年	
	薬剤師		薬剤長	31年	
	臨床検査技師		技師長	33年	
	放射線技師		主任	33年	
	管理栄養士		主任	17年	
	臨床工学士		主任	19年	
	理学療法士		主任	15年	
	理学療法士		主任	18年	事務局

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂（講義室1）	246.82 m ²	（主な設備） マイク放送設備/イス/机/プロジェクター/DVD再生機器 /P C/電子カルテは必要時に設置
大会議室（講義室2）	210.27 m ²	（主な設備） マイク放送設備/イス/机/プロジェクター/DVD再生機器 /P C/電子カルテは必要時に設置
研究室（講義室3）	25.19 m ²	（主な設備） 電子カルテ/プロジェクター

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	副院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等		事務	診療情報支援グループ長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

		保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		(1)電子カルテ (情報管理グループ) (2)カルテ庫 (医事グループ) 2024年6月末廃棄	(1)患者ID (2)ターミナルデジット方式 (ID番号の末尾3桁で管理) 2003年8月以前紙カルテ廃棄
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携グループ	設備別、日付順
	救急医療の提供の実績	電子カルテ	日付順
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療研修委員会	開催日順
	閲覧の実績	診療情報管理グループ 電子カルテ	日付順
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携グループ	紹介患者:予約日順 他施設に対する紹介患者: 診療情報提供書発行順

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名	職種	役職等		
		医師	副院長		
閲覧担当者	氏名	職種	役職等		
		事務 事務	情報管理グループ長 医事グループ長		
閲覧場所	・ 地域医療連携グループ ・ 研究室 ・ 診療情報管理室 ・ 中央カルテ室 (2024年6月末閉鎖)				
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共 団体	その他	合計
	12			11	23
閲覧手続の概要	(1) 電子カルテ ・ 利用者登録 (ID付与) を情報管理Gにて実施 (個別に閲覧制限を実施) ・ 不適切閲覧 (担当外の患者情報閲覧) のチェック実施 (2回/年) (2) 紙カルテ ・ 医事グループに申請、出庫依頼。貸出期間は2週間 ・ 医事グループはシステムにてアリバイ管理				

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

■ 第31回トヨタ記念病院 地域医療支援委員会

【日時】2024年6月18日 14:00～15:00

【場所】現地開催（講堂）

【出欠】出席：12名、欠席：2名（全委員数：14名）

【議事】・前回議事録の確認

- ・実績報告
- ・新健診センターについて
- ・外部委員からの意見・要望

■ 第32回トヨタ記念病院 地域医療支援委員会

【日時】2024年9月17日 14:00～15:00

【場所】現地開催（講堂）

【出欠】出席：13名、欠席：1名（全委員数：14名）

【議事】・前回議事録の確認

- ・実績報告
- ・トヨタアスリートサポートセンター(TASC)の紹介
- ・外部委員からの意見・要望

■ 第33回トヨタ記念病院 地域医療支援委員会

【日時】2024年12月17日 14:00～15:00

【場所】ハイブリット開催（講堂＋オンライン）

【出欠】出席：13名、欠席：1名（全委員数：14名）

【議事】・前回議事録の確認

- ・実績報告
- ・緩和ケアセンターの紹介
- ・外部委員からの意見・要望

■ 第34回トヨタ記念病院 地域医療支援委員会

【日時】 2025年3月18日 14:00～15:00

【場所】 ハイブリット開催（講堂＋オンライン）

【出欠】 出席：10名、欠席：4名（全委員数：14名）

【議事】・ 前回議事録の確認

- ・ 実績報告
- ・ 当院小児科の取り組みのご紹介
- ・ 外部委員からの意見・要望

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

患者相談の実績

患者相談を行った場所	・ 患者支援センター内の相談室 ・ 病棟の面談室 ・ 外来の面談室 ・ 患者相談窓口		
患 者 相 談 担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		社会福祉士	グループ長
		社会福祉士	主任
		社会福祉士	主任
		社会福祉士	主任
		社会福祉士	主任
		社会福祉士	
		社会福祉士	
		社会福祉士	
		社会福祉士	
		社会福祉士	
		社会福祉士	
		社会福祉士	
		社会福祉士	
		社会福祉士	
		看護師	
患 者 相 談 件 数	【社会福祉士相談（延数）：22,791件】 ・ 入院中の療養・退院・転院に関する相談件数(延数)：18,775件 ・ 外来福祉相談件数(延数)：3,406件 ・ ER福祉相談件数（延数）：610件 ・ 【患者相談窓口（延数）：9,826件】 ・ 相談・苦情(職員対応・待ち時間等)：4,622件 ・ 上記以外：5,204件		

患者相談の概要

1. 社会福祉士相談延べ件数：22,791件

(下記の日本医療社会福祉協会の業務指針並びにソーシャルハイリスク項目をもとに、当院独自の取り組みを加えて相談を行っている)

- ・ 入院中の療養生活・退院・転院に関する相談件数(延数：重複あり)：18,775件
- ・ 外来福祉相談件数(延数：重複あり)：3,406件
- ・ ER福祉相談件数(延数：重複あり)：610件

※ 上記相談に含まれるソーシャルハイリスク相談分類(実相談者数)：2,695件

- | | | | |
|-----------|--------|-------------|--------|
| ・ 施設から入院 | ： 635件 | ・ 老老世帯 | ： 321件 |
| ・ 単身世帯 | ： 227件 | ・ 高齢者単身世帯 | ： 285件 |
| ・ 経済困窮 | ： 113件 | ・ 身寄りなし | ： 56件 |
| ・ 高齢者と子 | ： 188件 | ・ 虐待暴力 | ： 359件 |
| ・ 認知症 | ： 147件 | ・ 精神疾患 | ： 79件 |
| ・ 医療費支払困難 | ： 67件 | ・ 家族協力得られない | ： 96件 |
| ・ 無保険 | ： 12件 | ・ 医療依存度高 | ： 37件 |
| ・ 外国籍 | ： 30件 | ・ 特定妊婦 | ： 41件 |
| ・ ヤングケアラー | ： 2件 | | |

2. がん相談支援センター相談件数(延数：重複あり)：2,366件

- ・ 治療・療養生活に関すること：3,633件
- ・ セカンドオピニオン：15件
- ・ 入院、退院、医療機関紹介：859件
- ・ 医療費、生活費、社会保障制度：984件
- ・ 不安、精神的苦痛、告知、コミュニケーション：2,602件
- ・ その他：163件

3. 虐待暴力関連相談件数(延数)：2,065件

- ・ 児童虐待(予防含む)：1,752件
- ・ DV(予防含む)：129件
- ・ 高齢者虐待(予防含む)：153件
- ・ 障がい者虐待件(予防含む)：31件

4. 患者相談窓口

(別紙参照：資料8-1)

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

- ・ 訪問診療所への訪問：12診療所
- ・ 訪問診療導入件数：190件
- ・ 訪問看護導入件数：269件
- ・ 退院時共同指導料：134件
- ・ 多機関共同指導加算：61件
- ・ 介護支援連携指導料：167件

1年間に1事業所3回以上、34施設の医療機関・介護サービス事業所と転院退院体制について連携・協議を実施

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

【社会福祉相談窓口】（新規相談：4,198件）

相談内容に応じて医師や看護師等院内多職種と連携・協働し、患者家族の相談に対応している。

【退院前カンファレンスの開催など】（実施件数：195件）

退院後に継続的な医療・介護の提供が必要な患者家族に対し、入院病棟等で入院中の情報共有を行っており、かかりつけ医、訪問看護ステーション、介護支援専門員、施設職員等の出席のもと、自施設の主治医、看護師、薬剤師、リハビリテーション技師、栄養士、社会福祉士等と情報共有・情報提供を行い、医療の計測性を心掛けている。

【在宅訪問による多職種カンファレンスの開催】（実施件数：5件）

医師、看護師や社会福祉士による退院前後の居宅への訪問を実施し、訪問看護師や介護支援専門員、福祉用具業者と療養生活を見据えたカンファレンスを実施、必要に応じた本人、家族への指導を行うことで退院後の在宅支援に向けた連携にも力を入れている。

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

【医師・看護師・Coメディカル等の交流会による医療提供の推進】

脳卒中、大腿骨頸部骨折、がん等地域のパス会議開催など地域連携ネットワークに積極的に取り組んでいる。

【認知症サポートセンター】

認知症医療に関する行政や医療機関、地域包括からの相談に対応、会議への積極的な参加や研修会の開催を行っている。

- ・ 認知症医療やケアに関する直接相談：192件
- ・ 参加：介護家族会、地域包括支援センターと医療機関との認知症に関する交流会
- ・ 開催：医療介護従事者向け研修会、認知症疾患医療連絡協議会

その他地域医療支援病院に求められる取組み
の状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	患者支援センター		
担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		医師	センター長
		理学療法士	地域医療連携グループ長
		社会福祉士	医療社会福祉グループ長
		看護師	入退院支援グループ長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	公益財団法人 日本医療機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	2021年 7月 16日 ～ 2026年 7月 15日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績

社会福祉士や看護師が入院後3日以内に患者の状況を把握するとともに、退院困難な要因を有している患者を抽出。入院7日以内に多職種カンファレンス実施、退院計画書作成している。

【人員構成】看護師：4名、社会福祉士：13名

【退院調整件数（新規）】1,786件

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

- ・ 脳卒中地域連携パス：当院入院→回復期病院→自宅等
- ・ 大腿骨頸部骨折連携パス：当院入院→回復期病院→自宅等
- ・ がん地域連携パス（胃、大腸、肺、肝、乳、前立腺）：
当院にてがんの手術を受け安定した患者をかかりつけ医に紹介。定期的に当院外来を受診。
- ・ CKDパス：当院外来で安定したCKDの患者をかかりつけ医に紹介。定期的に当院受診。
- ・ 心不全パス：当院外来で安定した心不全患者をかかりつけ医に紹介。6～12ヶ月毎に当院受診。

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- ・ 脳卒中地域連携パス部会（4回/年、WEB開催）
- ・ すぴりっとの会（脳卒中地域連携パス部会）（4回/年、WEB開催）
- ・ 大腿骨近位部骨折地域連携会議（4回/年、WEB開催）
- ・ 愛知県がん診療連携協議会 地域連携クリニカルパス
 - ・ コーディネーター研修会（1回/年、WEB開催）
 - ・ クリニカルパス部会・WG代表者会議（1回/年、WEB開催）
 - ・ 前立腺がんパスWG（2回/年、メール/WEB会議）
 - ・ 肺がんWG（1回/年、WEB開催）
 - ・ 乳がんWG（1回/年、WEB開催）

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

ホームページ、広報誌（Smile & Heart、NEWS LETTER、入院のご案内）、メール発信、Instagram、インフォメーションモニター、院内掲示（ポスター、サイネージ）

内容等の概要

- ・ ホームページ ： 病院概要、各診療科・診療担当医紹介、各部門紹介、受診方法、他
- ・ Smile & Heart： 病気のお話、病院トピックス、登録医の紹介（主な診療科、場所、特徴）他
- ・ NEWS LETTER ： 地域の医療機関向けに診療機能、専門治療、地域連携の取組み、他
- ・ メール発信 ： 連携医療機関向けに各種講演会、セミナーなどのご案内
- ・ Instagram（TASC）： アスリートに対する活動のご紹介

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。